



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場会社名 株式会社 村上開明堂 上場取引所 東
 コード番号 7292 URL http://www.murakami-kaimeido.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 兼 管理本部経理部長 (氏名) 長谷川 猛 TEL 054-253-1811
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	56,752	3.2	5,152	△4.8	5,559	△4.4	3,682	△7.7
2019年3月期第3四半期	55,016	4.9	5,414	△3.6	5,817	△6.0	3,991	△3.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 3,810百万円 (5.3%) 2019年3月期第3四半期 3,619百万円 (△30.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	288.37	—
2019年3月期第3四半期	310.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	78,600	63,658	77.9	4,796.80
2019年3月期	78,298	61,169	74.6	4,574.04

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 61,258百万円 2019年3月期 58,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	24.00	44.00
2020年3月期	—	24.00	—		
2020年3月期 (予想)				22.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,000	3.1	7,000	△2.1	7,700	0.1	5,000	2.9	391.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー
なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、Murakami Corporation (Thailand) Ltd. を連結の範囲に含めております。詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	13,100,000株	2019年3月期	13,100,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	329,303株	2019年3月期	329,204株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	12,770,760株	2019年3月期3Q	12,870,833株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、主力の自動車用バックミラー販売数量の増加等により、売上高は56,752百万円となり、前第3四半期連結累計期間に比べて1,735百万円(3.2%)の増加となりました。

営業利益は、受注競争の激化及び増産に向けた設備投資に伴う減価償却費の増加等により5,152百万円となり、前第3四半期連結累計期間に比べて262百万円(4.8%)の減少となりました。経常利益は、5,559百万円となり、前第3四半期連結累計期間に比べて258百万円(4.4%)の減少となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は3,682百万円となり、前第3四半期連結累計期間に比べて309百万円(7.7%)の減少となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

主力の自動車用バックミラー販売数量の増加等により、売上高は33,903百万円となり、前第3四半期連結累計期間に比べて649百万円(2.0%)の増加となりました。営業利益は、新製品投入に伴う諸費用及び減価償却費の増加等により2,168百万円となり、前第3四半期連結累計期間に比べて449百万円(17.2%)の減少となりました。

②アジア

中国における自動車用バックミラー販売数量の増加等により、売上高は13,371百万円となり、前第3四半期連結累計期間に比べて125百万円(1.0%)の増加となりました。営業利益は、減価償却費の増加及び為替換算上の影響等により2,091百万円となり、前第3四半期連結累計期間に比べて38百万円(1.8%)の減少となりました。

③北米

メキシコにおける新規車種の自動車用バックミラー販売数量が増加したこと等により、売上高は9,476百万円となり、前第3四半期連結累計期間に比べて959百万円(11.3%)の増加となりました。営業利益は741百万円となり、前第3四半期連結累計期間に比べて183百万円(32.9%)の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、78,600百万円となり、前連結会計年度末に比べて301百万円増加いたしました。これは、現金及び預金が934百万円減少、原材料及び貯蔵品が321百万円増加、有形固定資産が804百万円増加、無形固定資産が187百万円増加したことなどによるものであります。

負債の残高は、14,941百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,187百万円減少いたしました。これは、主に短期借入金457百万円減少、未払法人税等513百万円減少、賞与引当金が126百万円減少、役員退職慰労引当金が971百万円減少したことなどによるものであります。

純資産の残高は、63,658百万円となり前連結会計年度末に比べて2,488百万円増加いたしました。これは、主に利益剰余金が3,210百万円増加、為替換算調整勘定が518百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では2019年5月10日に公表いたしました業績予想について、特に変更はありませんが、今後様々な要因により予想数値の修正を行う必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,053	27,118
受取手形及び売掛金	9,745	9,695
電子記録債権	1,398	1,396
商品及び製品	1,246	827
仕掛品	866	745
原材料及び貯蔵品	2,205	2,527
その他	1,235	1,634
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	44,745	43,938
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,265	18,186
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,539	△7,922
建物及び構築物 (純額)	9,726	10,263
機械装置及び運搬具	23,988	24,416
減価償却累計額及び減損損失累計額	△17,931	△18,037
機械装置及び運搬具 (純額)	6,056	6,379
工具、器具及び備品	21,401	22,153
減価償却累計額及び減損損失累計額	△19,520	△20,305
工具、器具及び備品 (純額)	1,881	1,848
土地	5,642	5,669
リース資産	477	463
減価償却累計額及び減損損失累計額	△458	△449
リース資産 (純額)	19	14
建設仮勘定	1,414	1,371
有形固定資産合計	24,740	25,545
無形固定資産		
投資その他の資産	1,381	1,568
投資有価証券	4,688	4,997
投資不動産	1,735	1,735
減価償却累計額及び減損損失累計額	△348	△350
投資不動産 (純額)	1,386	1,384
退職給付に係る資産	343	356
繰延税金資産	594	331
その他	416	478
投資その他の資産合計	7,430	7,547
固定資産合計	33,552	34,661
資産合計	78,298	78,600

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,340	5,340
電子記録債務	1,808	1,972
短期借入金	844	387
未払法人税等	922	409
製品保証引当金	215	211
賞与引当金	877	751
役員賞与引当金	21	11
その他	3,225	3,349
流動負債合計	13,257	12,433
固定負債		
長期借入金	1,600	1,600
役員退職慰労引当金	1,327	356
退職給付に係る負債	410	435
資産除去債務	49	49
その他	483	66
固定負債合計	3,870	2,507
負債合計	17,128	14,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,165	3,165
資本剰余金	3,426	3,426
利益剰余金	51,021	54,232
自己株式	△486	△486
株主資本合計	57,127	60,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,283	1,439
為替換算調整勘定	6	△512
退職給付に係る調整累計額	△3	△6
その他の包括利益累計額合計	1,286	920
非支配株主持分	2,755	2,399
純資産合計	61,169	63,658
負債純資産合計	78,298	78,600

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	55,016	56,752
売上原価	44,494	46,401
売上総利益	10,522	10,350
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	489	518
役員報酬	208	189
従業員給料	1,607	1,600
賞与引当金繰入額	155	188
役員賞与引当金繰入額	3	11
退職給付費用	65	61
役員退職慰労引当金繰入額	28	30
福利厚生費	359	367
旅費交通費及び通信費	280	289
減価償却費	268	324
その他	1,640	1,616
販売費及び一般管理費合計	5,107	5,198
営業利益	5,414	5,152
営業外収益		
受取利息	113	124
受取配当金	83	81
受取地代家賃	100	103
受取ロイヤリティー	76	60
開発業務受託料	86	59
助成金収入	33	40
その他	77	83
営業外収益合計	570	553
営業外費用		
支払利息	11	13
賃貸費用	22	23
為替差損	78	96
その他	54	13
営業外費用合計	166	146
経常利益	5,817	5,559
特別利益		
固定資産売却益	12	100
受取保険金	200	—
投資有価証券売却益	—	7
特別利益合計	213	108
特別損失		
固定資産処分損	18	113
特別損失合計	18	113
税金等調整前四半期純利益	6,013	5,554
法人税等	1,510	1,429
四半期純利益	4,502	4,125
非支配株主に帰属する四半期純利益	510	442
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,991	3,682

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	4,502	4,125
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△566	155
為替換算調整勘定	△321	△467
退職給付に係る調整額	4	△3
その他の包括利益合計	△882	△315
四半期包括利益	3,619	3,810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,157	3,316
非支配株主に係る四半期包括利益	461	493

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

前連結会計年度において非連結子会社でありましたMurakami Corporation (Thailand) Ltd.は、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(会計方針の変更)

米国会計基準を採用している当社の米国連結子会社において、米国財務会計審議会が公表した会計基準の改訂第2014-09号「顧客との契約から生じる収益」(ASC第606号)を第1四半期連結会計期間より適用しております。

当該会計基準に定める経過的な取扱いに従い、第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金が109百万円増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,253	13,245	8,517	55,016	—	55,016
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,259	798	10	3,069	—	3,069
計	35,513	14,044	8,528	58,086	—	58,086
セグメント利益	2,617	2,129	557	5,304	—	5,304

(注) 本邦以外の区分に属する国又は地域は以下のとおりであります。

アジア: タイ、中国、インドネシア

北米: 米国、メキシコ

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,304
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	582
全社費用(注)	△472
四半期連結損益計算書の営業利益	5,414

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,903	13,371	9,476	56,752	—	56,752
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,774	1,327	2	3,105	—	3,105
計	35,678	14,699	9,479	59,857	—	59,857
セグメント利益	2,168	2,091	741	5,000	—	5,000

(注) 本邦以外の区分に属する国又は地域は以下のとおりであります。

アジア：タイ、中国、インドネシア

北米：米国、メキシコ

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,000
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	633
全社費用 (注)	△481
四半期連結損益計算書の営業利益	5,152

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。